



小牧幼稚園 園だより 第355号 2020年3月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「ことばに満たされて～ひびきあう～」
年聖句「その人は流れのほとりに植えられた木。」

詩編1篇3節

今年度も終りを迎えようとしていますが、今年は様子が違います。小学校が休みとなり、みどり組の子の中にも、一緒に休む子も何人もいます。例年最後の日々を今まで以上に大切にしたい、幼稚園でのやり残しが無いようにしたいと、思いながら、年度末を迎えますが、なんだか、世間に追われているようで、社会全般に落ち着きがありません。子どもたちは余り気にはしていないようですが、私も大人は、なんだか慌ただしく過ごしています。ウィルスの影響で、マスクがない、トイレットペーパーがない、学校が休みのため、3食作るため、冷凍食品を買い占めているという噂が広がったり、果てはバブルがはじけたように経営の悪化、おかげでガソリンの値下がり等々と、メディアはどんどん悪い方へ進んでいくと伝えています。実は幼稚園もトイレットペーパーが少なくなってきたので、そろそろ注文しなければと、副園長に、冗談交じりで、あそこも在庫が無かったりして、と話していました。園が購入しているのは「共働学舎」と言って、毎回200個単位でお願いしています。支援のいる人たちを中心に、古紙を集め整理し、トイレットペーパーにすることができる紙を製造会社に持ち込み、製品を共働学舎が販売するシステムです。そのため、紙としては捨てる紙を利用しているので、一枚重ねだけの、少しごわごわする、優しくないトイレットペーパーと言えます。普段はあまり売れないので、「皆さんに紹介してください」「今度も買ってきてくれてありがとう」といつも絵手紙のようなお礼の手紙が付いてきます。

いつものように注文したのですが、すぐにメールが来て「大変申し訳ありませんが、只今注文が大変込み合っております。2週間程度お時間をいただく場合がございますので、ご了解ください。」との返事、売れているのを喜んでよいのか？

9度目の3月11日を迎えます。多くの人たちが、東北支援のためまだ働いてお見えです。福島では帰還困難地域もまだあり、9年たつと避難先に生活基盤ができ、親は働き場所ができ、子には友達ができ、帰る気持ちが無くなってきているようで、将来、帰還困難地域が、人が住まなくなった山村のように「限界集落」となると言われています。私の娘が仙台に住んでいたため、多くの友だちが、東北に住んでいます。それもあり、今でもお手伝いに行っているようです。私も何かをと言いましたら、「肉体労働は邪魔になるから、旅行に行って、お金を使って、遊びに行く人も少ないよだから」と言われ、それ以来、毎年東北に旅行に行っています。今年の夏は福島に行ってきました。JR福島駅は静かでした。何もなかったようですが、この町の傍に帰還困難地域があります。その後、すぐ若い友人から福島みやげにと「来て 福島」の缶バッチを持ってきてくれました。それ以来いつも私のカバンに付いています。普段はそんな話しをしたことが無い、この友人も、東北のこと忘れていなかった、と嬉しく思いました。このように、多くの人たちが忘れていません。また、去年はラグビー世界大会もあり「ワンチー

ム」が皆さんの心に刻まれたはずです。そんな日本で、マスクが無い、トイレットペーパーのために並ぶ、思い起こすと、こんなことがこの日本で何度もありました。

小牧幼稚園に長い子が4年弱、短くて1年ともに過ごしました。幼稚園では毎日「遊んで」います。遊びは保育者が強制して遊ばせているのではなく、子どもが自分で遊びを発見して、それを友に伝えます。共に遊ぶ中で、喧嘩があったり譲り合ったり、教え合ったりして、遊びが発展します。保育者は見守り支援しますが、自分たちで遊びの中で“生き方・生活”学び、友の存在の大切さを学びます。自分たちで作りに上げてこそ遊びです。小牧幼稚園は、イエスさまの教え「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」と伝えています。友のために何ができるかをいつも考える子、この教えが、幼稚園を卒園し学校に行くようになって、いつまでも子どもたちの心の中に残るように願っています。今でも大きくなった卒園生が遊びに来てくれます。きっとその人たちの心の中には、幼稚園で学んだことが残っていると思っています。この園だよりが最後になるご家庭の皆様、幼稚園が子どもだけの「心のふるさと」でなく、自分の子の“初めの一歩”に選んだ「小牧幼稚園」が子どもと同様、お父さん・お母さんの「心のふるさと」にしていただければ幸いです。小牧幼稚園はいつまでもお帰りを待っています。

*愛知県経常費補助金のお知らせ

愛知県は極めて厳しい財政状況の中で、県下の幼稚園に対して多額の補助金が交付され私学助成の充実に力を注いでおります。この補助金は幼稚園の人件費・消耗品・教育に必要な経常的経費に対して補助されるもので、次の3点が目的になります。①教育条件の維持向上、②父母負担の軽減、③経営の安定化です。小牧幼稚園は平成31年度（令和元年度）36,186,000円（園児一人当たり231,962円）の補助を受け、前記3項目に対して効果が見られ来年度の経営等も安定して運営できると思います。

*2019年度父母の会会計報告は、4月号で報告いたします。卒園されるご家庭はホームページをご覧ください。

*毎年3月25日に、新中学生の同窓会を行います。今年の卒園生も6年後に6年前に描いた、『絵』を受け取りに、同窓会にお出で下さい。

残念ながら、今年の同窓会は、コロナウィルス感染症の影響で、集まりは取りやめになりましたが、「絵を取りにお出で下さい。園長・副園長が待っています」とお手紙を出しました。お手紙が数枚、宛先不明で戻ってきました。心当たりのある方はお知らせください。

卒園後、住所が変わる方、園までお知らせください。

*今年度3月を持ち、すみれ組担任のK・M先生が退職します。また、主任M・I先生も退職予定でしたが、新入園の子どもが慣れる5月まで在職します。いつまでも神様のご加護がありますようお祈りいたします。

お知らせ

☆上記に書いてあるように、今年度3月25日に予定していました。今年4月に中学生になる人の同窓会は、コロナウィルス感染症の心配のため、残念ですが、取りやめになりました。対象の人は、6年前に描かれた「絵」が園にありますので、遊びがてら取りに来てください。お待ちしております。

今後の予定

☆4月 6日（月） 在園生新学期開始
4月10日（金） 入園式

*コロナウィルス感染症が流行しています。現在、園は平常通り保育・預かり保育を行っていますが、状況次第で、いつ変更があってもおかしくないようです。皆様も十分にご注意ください。